

日本と世界の架け橋へ

～ハラルがもたらす友好と 第2次爆買いブーム～

応募区分 : 高校

チームID : SL600067

チーム名 : amuse

学校名 : 愛知県立愛知商業高等学校

学年 : 3年

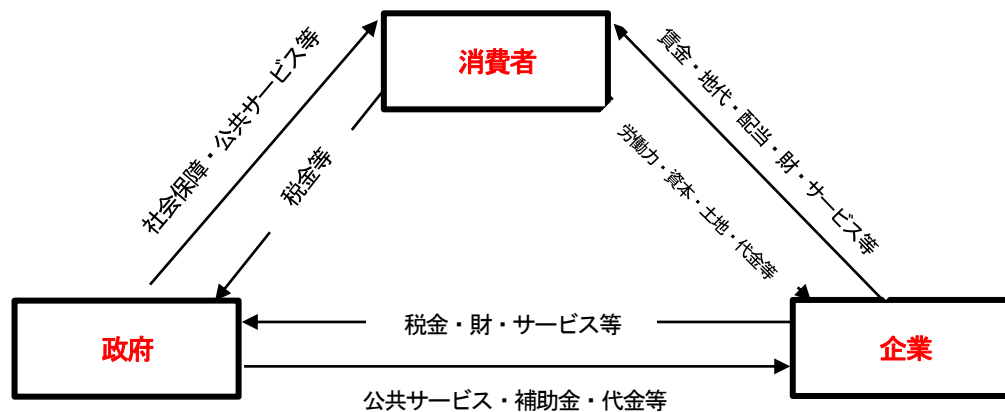
リーダー名 : 一ノ瀬裕太

メンバー名 : 花木紗知、舟橋菜月、春日井海斗

指導教員 : 寺田陽一(商業科教諭)

基礎学習

- 1 私たちが日常生活の中で消費している商品は、**(財)**と**(サービス)**の2種類に大別される。
- 2 下の図は、一国の経済を構成する経済主体間の主な関係を示している。空欄の3つの各主体は何か？



- 3 財やサービスの取引（交換）の手段として使われている貨幣（通貨）に関する次の各文のうち、誤っているものは？ **(b)**
 - a. 貨幣には、商品と交換する際に誰もが受取を拒否しないという共通の価値がある。
 - b. 各国の通貨の価値は、現在でも一定量の金（きん）を尺度にして決められている。
 - c. 通貨には、紙幣や硬貨からなる現金通貨と、当座預金や普通預金などの預金通貨の2種類がある。
 - d. 現金通貨は、強制的な通用力が法的に認められていることから法定通貨（法貨）と呼ばれる。
- 4 現在の日本の年間出生数は約 100 万人で、第二次世界大戦直後と比べると約 **(4)** 割、30 年前との比較でも約 **(7)** 割まで低下している。
- 5 今後、少子高齢化が進むことによる日本の社会や経済への影響に関する次の各文のうち、誤っているものは？ **(c)**
 - a. 日本の人口は 2008 年をピークに減少傾向が続いている。
 - b. 少子化や人口流出によって、将来、消滅する自治体が出てくる可能性もある。
 - c. 少子高齢化による商品市場へのマイナスの影響は全ての分野に共通して現れる。
 - d. 生産年齢人口の減少により、公的年金や医療保険の財政はますます厳しくなる。
- 6 グローバル化の進展に関する次の各文のうち、誤っているものは？ **(b)**
 - a. あらゆる分野で多くの企業が世界規模で事業展開を行っている。
 - b. 先進国企業による発展途上国への海外投資では、途上国側のメリットは雇用の創出のみで限定的である。
 - c. 国内にある生産拠点の海外移転により地域経済が衰退する「空洞化」の問題が懸念されている。
 - d. グローバル化の進展は経済だけにとどまらず、文化の面でも大きなインパクトをもたらす。
- 7 近年は、利害が一致しやすい2つ以上の国や地域間で協定を締結する事例が増えている。具体的には、自由貿易を促進する**(自由貿易協定 (FTA))**と、「環太平洋経済連携協定 (TPP)」のように幅広い分野での協力を規定する**(経済連携協定 (EPA))**がある。
- 8 グローバルな対応が求められているグローバルな課題（グローバル・イシュー）として適切でないものは？ **(f)**
 - a. 地球環境問題
 - b. 人口問題
 - c. 感染症対策
 - d. 国際経済格差と貧困
 - e. 核廃絶
 - f. ワーク・ライフ・バランス
 - g. すべて適切
- 9 GDP（国内総生産）に関する次の各文のうち、誤っているものは？ **(a)**
 - a. GDPとは、一定期間に国民全体として生産したモノやサービスの付加価値の合計額をさす。
 - b. GDPとは、一定期間に国内で生産されたモノやサービスの付加価値の合計額をさす。
 - c. GDPには名目GDPと実質GDPとがあり、その違いは物価の変動分を考慮するかどうかにある。
 - d. 近年は実質GDPが名目GDPを上回っており、これは日本がデフレ状態にあることを示している。
- 10 需要・供給の法則のポイントは、**(価格)**が消費者・生産者の行動に対し**(インセンティブ)**として機能することである。
- 11 直接金融の例として適切でないものは？ **(d)**
 - a. 社債
 - b. 公債
 - c. 株式
 - d. 銀行預金
 - e. 投資信託
 - f. すべて適切
- 12 株式を所有することで得られる金銭的な利益には、インカムゲインと呼ばれる**(配当金)**とキャピタルゲインと呼ばれる**(売却益)**とがある。
- 13 株式投資などの際に考慮すべきリスクとして適切でないものは？ **(d)**
 - a. 価格変動
 - b. 金利変動
 - c. 為替変動
 - d. インフレ
 - e. 自然災害
 - f. すべて適切

要旨

2016年8月、本校はマレーシアのSeri Puteri Schoolと姉妹校提携を結んだ。来年度マレーシアの姉妹校から本校を訪れる生徒におもてなしをするためにはまず、マレーシアの国の文化や宗教を知る必要があると考えた。マレーシアは、イスラム教を多くの人が信仰している。（**イスラム教徒をアラビア語でムスリムという**）イスラム教徒の人数は中国人の人口も超える15億人である。現在日本では、中国の方による観光や爆買いによって経済的に恩恵を受けている。このような現象をムスリムの方にも当てはめることができるのではないかと考えた。しかし、ムスリムの生活では豚肉やアルコールなどを禁忌されており、旅行等でも制限がかかる。現在日本では、ムスリムの方に対しての対策があまり進んでいないのが現状である。

しかし、環境を整えれば多くのムスリムの方に観光そして、移住という形で日本に来ていただけるのではないかと考えた。東京オリンピックや名古屋アジア大会の開催を控えた今だからこそ、整備を進めることが今後のビジネスチャンスになると私たちは考えた。同じような考えを行政や企業もしていることがわかり、近い将来多くのムスリムの方を受け入れることが可能ではないかと考えた。

目次

P1	表紙
P2	基礎学習
P3	要旨・目次
P4	1、暮らしや社会の変化と経済の変化
	（1） テーマ設定のきっかけ
	（2） クロスSWOT分析
	（3） 仮説の設定
P6～	2、投資テーマの決定
	（1） 継続研究分野の決定
	（2） テーマ設定の決定に向けて
	（3） 投資テーマの決定
P11～	3、ポートフォリオの作成
	（1） 第1スクリーニング
	（2） 第2スクリーニング 財務諸表分析
	（3） 第3スクリーニング 有価証券報告書から読み取れること
	（4） 第4スクリーニング ハラルに関するスクリーニング
P16	4、ポートフォリオの完成とファンド名
P16～	5、ポートフォリオの分析と企業レポート
P22～	6、投資家へのアピール
	（1） 仮説の検証 ハラルビジネスの可能性
	（2） 多角的なスクリーニング
	（3） 企業レポート
P25～	7、日経ストックリーグを通して学んだこと
	（1） 官公庁訪問記 行政としての取り組み
	（2） 企業訪問記 民間企業としての取り組み
	（3） フィールドワークからわかったこと
	（4） ムスリムの方への取材
	（5） ハラル商品開発の勉強会
	（6） 姉妹校の生徒を受け入れるために
	（7） 広い視野を持って考えることの必要性
	（8） 最後に
P29	参考文献・参考サイト

1 暮らしや社会の変化と経済の関係

(1) テーマ設定のきっかけ

私たちが通う愛知商業高校はユネスコスクールに加盟しており、私たちは入学時からESDについて学習してきた。ESDとはEducation for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳される。今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があり、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動を ESD という。本校の先輩方の日経STOCKリーグの作品はどのようなテーマで書かれているのか興味を持ち、レポートを読ませていただいたが、このESD の考え方に沿っているものが多いと気づいた。今年度は本校が日経ストックリーグに参加して5年目という節目の年であり、先輩方の研究を深めていきたいと考えるようになった。

<先輩方の作品>



年度	タイトル	内容	ESD のカテゴリー
2015	Welcome to 昇龍道	観光・地域発展	地域の文化財等に関する教育
2015	元気印あいちの次なる一手	観光・地域発展	地域の文化財等に関する教育
2014	FAIRTRADE	平等な世の中の実現	国際理解教育
2014	ESD から考える生物多様性	生物多様性	その他関連する教育
2013	2020 東京五輪	観光・インフラ整備	国際理解教育
2013	富士山 日本の誇り	世界遺産登録・環境	環境教育
2012	THE BRIGHT FUTURE	高齢化社会	その他関連する教育
2012	次世代エネルギー	エネルギー開発	エネルギー教育

私たちは上記の先輩方の作品のうち、青で網掛けした作品について興味を持ち、これらについて継続研究していきたいと考えた。また、私たちの地域にとって、最も可能性があるテーマについて研究していきたいと考えた。そこで、これらのテーマが私たちの中部地方や、愛知、名古屋にどのくらいのビジネスチャンスをもたらすかクロスSWOT分析を用いて分析をした。

(2) クロスSWOT分析

クロスSWOT分析では、「強み」「弱み」「機会」「脅威」を打ち出し分析することで、何が課題で何がチャンスなのかを明確に示すことができる。また、それをクロス分析することによって今後、どのように進んでいくべきか戦略を考えることができる。私たちは先輩方が書かれたレポートから新たな可能性をクロスSWOT分析により探すことにした。今回は、上記でも述べたとおり『高齢化社会』『東京オリンピック』『フェアトレード』『昇龍道』について分析した。

<クロスSWOT分析により分析できる内容>

- ・強み×機会(SO分析) = 強みを活かし、チャンスをもつに方法
- ・強み×脅威(ST分析) = 強みを活かし、脅威の影響を受けないようにする方法
- ・弱み×機会(WO分析) = 弱みを克服し、チャンスをつかむ方法
- ・弱み×脅威(WT分析) = 弱みを克服し、脅威の影響を受けないようにする方法

高齢化社会	S(強み) 名古屋は高齢者パスなどが充実。 高齢者の地域リーダーの養成、活用。 高齢者向け商品の消費が増える。 シニアビジネスの活性化。	W(弱み) 働き手が減る。 名古屋等の都市部以外の高齢化の進展、過疎化。
O(機会) 余暇が増えた事による旅行等の支出の増大。 平均寿命が延びた事によるビジネスチャンスの増大。(元気な高齢者が多い)	SO分析結果 ・旅行等でお金を使う高齢者が増える。 ・平均寿命が延びた事による消費の増大。 ・経験を持った高齢者がリーダーとして活躍することによる経済活性化。	WO分析結果 ・地方部を観光地化にすることによって高齢者の雇用を生み出すことができる。 ・農家民宿などの発想により、地方部のビジネスチャンスが増える。また、高齢者が活躍する場が増える。
T(脅威) タンス預金の増加。 年金制度や医療費などの国の負担増。	ST分析結果 ・高齢者向けビジネスを利用することでタンス預金が消費に回る。 ・高齢者パスが充実していることにより、街に出やすくなり、そこで消費活動を行う。 ・リーダー登用により働くことに生きがいを感じ、病気などが減り、医療費が減る。	WT分析結果 ・地方部で生活している高齢者のタンス預金の増加。(お金を使う場所がない。) ・少子化によるタンス預金の増。(孫にお金を使えない)それを自らの人生の楽しみに使ってもらえるビジネスの創生。

東京オリンピック	S(強み) 中部出身選手の活躍。 世界中から名古屋にも注目が集まる。 スポーツビジネスの活性化。	W(弱み) 名古屋の知名度の低さ。 (有名なものが少ない) 外国人に対しての利便性の低さ。 名古屋飛ばし。
O(機会) 来日者の増加。 日本全体のインフラ整備、都市開発。	SO分析結果 ・中部地区出身の選手が活躍することで知名度が上がり、外国人観光客が増える。それと並行してより過ごしやすいつくりが進む。	WO分析結果 ・中部地方にある文化財などSNSなどを通じて世界にアピールすることで、モノづくりだけでなく観光面も発達させることができる。
T(脅威) 首都圏への人口・労働者流出。	ST分析結果 ・スポーツビジネスが活発になれば、人口流出を抑えたり新たな住民獲得につながったりする。	WT分析結果 ・観光としての知名度は低い、モノづくりでは有名なので産業界と手を組んで活性化に取り組む。

フェアトレード	S(強み) 名古屋はフェアトレードタウンに指定されている。 フェアトレードツキイチマルシェの開催。 愛知県、名古屋市などの行政の協力。	W(弱み) 市民の認知度がまだ低い。 発信力の弱さ。
O(機会) 大手スーパーなどフェアトレード商品を扱う店が増えている。 人々の慈善意識の向上。	SO分析結果 ・名古屋という大都市がフェアトレードタウンに指定されたため注目度が上がり、今後も取扱い企業が増える。	WO分析結果 ・大手スーパーなどがフェアトレード商品を扱うことにより、発信力の弱さを解消できる。 ・慈善意識の向上により、協力者が増え、認知度向上の動きが期待される。
T(脅威) デフレの進展。 価格の高さによる消費者離れ。 フェアトレードに対する意識の低さ。	ST分析結果 ・フェアトレードタウンに指定されたが価格が高く手が出しにくい。 ・ツキイチマルシェなどのイベントにより意識の向上を図ることができる。	WT分析結果 ・発信力やフェアトレードに対する意識を高めることで、飛躍的に伸びていく可能性がある。

昇龍道	S(強み) セントレアや地下鉄、新幹線など、公共交通機関が充実している。 歴史的建造物が多い。またコスプレの聖地としての地位を築いている。	W(弱み) 観光/バスの不足。 東京や大阪のような魅力がない。 昇龍道が中部9県と広域なため、移動時間がかかる。
O(機会) 愛知名古屋アジア大会決定に伴う注目度の増加による外国人観光客の増加。 免税の規制緩和。 日本製品の信頼性。	SO分析結果 ・アジア大会で来日客も増え、歴史的建造物が多く、コスプレの聖地ともなっているので交通のアクセスを活かし観光してもらえる。 ・免税の規制緩和による経済効果。	WO分析結果 ・アジア大会の開催により、バス会社がビジネスチャンスを求めに来る。 ・免税店の数を増やすことによる新たな中部地区の魅力を発信。 ・アジア大会を関連させた昇龍道のPR。
T(脅威) 昇龍道自体の知名度不足。 中国経済の景気の悪化。 ムスリム対応に対する意識の低さ。 地方部の過疎化。	ST分析結果 ・コスプレの聖地として宣伝することで知名度不足の改善が見込める。 ・交通機関が充実していても、ムスリムの方に対する食の部分の対応ができていない。いち早く対応できれば、ビジネスチャンス大。	WT分析結果 ・中国経済の景気悪化による、来日人数の減少。昇龍道地区ならではの魅力を伝えることにより他地域との差別化を図ることができる。 ・ムスリム対応の先進地域になれば他地域との差別化を図れ、それが昇龍道地区の活性化へと繋がる。

(3) 仮説の設定

私たちはクロスSWOT分析をもとに、それぞれの分野が今後どのように成長していくのか仮説を立ててみることにした。今後、私たちは、株式を購入するわけであるが、株式を購入するということは、今後の未来に向けて投資を行うことである。そのため、どの企業が成長していくのかを考え仮説を立て、それに基づいて投資企業を選ぶ必要がある。今回のテーマ設定でも同様のことが言え、分野ごとに今後の可能性は異なる。より、私たちの地域にとって可能性が大きいのはどの分野か。それを考察するために実際に各分野について仮説を立ててみることにした。

仮説

高齢化社会	高齢者がリーダーとして活躍し、人生経験を若者に伝えることにより、次世代を担う若者がその伝統を引き継ぐことにより伝統産業が残る。また、触れ合いから高齢化社会の現状を知ることができ、現在、過疎化している地域で若者がビジネスを興し、地方部が活性化していく可能性を秘めている。
東京オリンピック	東京オリンピックの開催で、訪日客が増加し、より多くの人が生活しやすい街づくりが実施され、観光面で経済が活発になる。訪日客が増加することで、東京だけでなく、地方部にも恩恵が回る。
フェアトレード	名古屋という大都市がフェアトレードタウンに指定されたことによって、今後も多くの街がフェアトレードタウンを目指し、指定されることによって、認知度が上がり、多くの商店やスーパーがフェアトレード商品を扱い、それが経済へと波及する。
昇龍道	歴史的建造物やコスプレなどの文化を中心に宣伝していくことにより、注目度が増え、知名度が上がり、観光客の増加に繋がる。また、愛知・名古屋アジア大会の開催により、昇龍道地区に注目が集まる。中国人観光客が減少していく中、東南アジアの方々に観光に来ていただくために、ムスリム対応を行い、環境を整備することにより、今後も訪日客の増加が見込める。

2 投資テーマの決定

(1) 継続研究分野の決定

私たちは、クロスSWOT分析と仮説から、どのテーマを採用するのかを話し合った。その結果、やはり

地元を活性化させたい！

という考えが強く、それが最も実現できそうな『昇龍道』をさらに掘り下げ、継続研究をしていくことに決めた。そこで改めて先輩のレポートを読み直し、調べてみることにした。

昇龍道とは…

中部北陸9県（愛知・岐阜・三重・静岡・長野・滋賀・福井・富山・石川）が官民一体となって、外国人観光客誘致を推進するプロジェクト。能登半島を龍の頭に、三重県を龍の尾に見立てて「昇龍道」と命名し、中部9県をくまなくカバーしながら天に昇っていく龍に重ねて運氣も上昇していこうという願いもこめられている。

平成27年度の本校作品「Welcome to 昇龍道」より

(2) テーマ設定の決定に向けて**ア. 今年度の本校の重大ニュース**

次に私たちは、昇龍道の中から何をテーマにするのかについて話し合った。継続研究とは言え、昨年先輩方が研究された昇龍道だけの研究では二番煎じとなり、面白味のない研究になってしまう。そこで、何か昇龍道につながる新たなテーマがないか、また本校やESDとの関連性がないか考えるために本校の2016年の出来事を振り返ってみた。すると、本校は8月にマレーシアにある女子高等学校 Seri Puteri School との姉妹校締結という歴史的な出来事があった。これをきっかけにテーマ設定できないかを考えた。昇龍道とのつながりがあるかどうか、姉妹校があるマレーシアについて調べてみることにした。

〈マレーシア〉

東南アジアの中心に位置するマレーシアは、マレー半島とボルネオ島の一部・サバサラワク州から成り立っています。国土面積はマレー半島部分とボルネオ島部分を合わせ、33万338平方キロメートル。日本の面積の9割弱の広さの土地に、日本の16%の人口が住んでいることになります。そして国土の約60%が熱帯雨林で覆われています。人口約3000万人のマレーシアは、マレー系・中国系・インド系、そして多数の部族に分けられる先住民族で構成される多民族国家です。それぞれの民族が持つ宗教、生活習慣の融合は独特な文化を生み、マレーシアの魅力の魅力を創り出しています。また、のんびりとくつろぐことの出来る砂浜、南国の熱帯雨林、魅力的な島々、神秘的で荘厳な山々など自然美に溢れる国です。

■ 首都

マレーシアは、13の州と3つの連邦特別区によって成立しています。首都はクアラルンプールで人口は180万人以上。「クアラルンプール」には「泥の川が交わる」という意味があります。またペナン、マラッカ、サバ、サラワク州以外の州にスルタンがおり、5年ごとに輪番制で国王が選出されます。

■ 国花

マレーシアの国花・ハイビスカスの5つの花びらは、マレーシアの5つの国是（1：神への信仰、2：国王及び国家への忠誠、3：憲法の遵守 4：法による統治 5：良識ある行動と徳性）を表し、赤い色は勇気を表しています。1960年に初代首相トウルク・アブドゥル・ラーマンにより国是と共に国花として制定されました。

**■ 国旗**

マレーシアの国旗には、国教であるイスラム教のシンボルマークである月と星、そしてマレーシアの13の州と連邦特別区の意味が込められています。

**■ 宗教**

国教はイスラム教ですが、信仰の自由を認めている為、多民族国家を反映して仏教、ヒンドゥー教、キリスト教、道教、シーク教を信仰する国民も多くいます。

■ 言語

公用語はマレーシア語（マレー語）ですが、多民族国家の為中国系住民社会では中国語、インド系住民社会ではタミール語が使用されています。また、各民族間で会話をする際は広く英語が使用されているので、旅行では英語が主体です。

マレーシア政府観光局より(http://www.tourismmalaysia.or.jp/kihon/kihon_b.htm)

イ. 昇龍道地区とマレーシアのつながり

次に、昇龍道とマレーシアに何かつながりはあるのか、中部運輸局の「昇龍道」プロジェクトのホームページ(<https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/kikaku/syoryudo/muslim-sp.html>)から調べた。するとそこに、「**昇龍道ムスリム受入環境整備**」という文字を見つけた。ムスリムとはイスラム教徒のことで、昇龍道はムスリムの方でも楽しめるように冊子を発行したり、環境整備に力を入れていたりしていると書かれていた。



お？これはマレーシアの宗教とつながりがあるのでは？

と考えた私たちは、次にイスラム教について調べていたが、そのなかでよく出てきたワードが「ハラル認証」である。そこでこの「ハラル認証」について調べた。

イスラムの教えで「許されている」という意味のアラビア語がハラル（ハラル）【アラビア語：حلال Halal】です。反対に「禁じられている」という意味の言葉が「ハラーム（ハラム）」です。ハラームをノンハラル（ノンハラル）と言う人もいます。

ハラルやハラムはモノや行動が「神に許されている」のか「禁じられている」のかどうかを示す考え方です。

例えば、嘘をついたり物を盗んだりすることは「ハラム」とされます。

ハラルとは神に従って生きるイスラム教徒（ムスリム）の生活全般に関わる考え方であり、ハラルマーケットは、ムスリムの日々の生活全てに関わる商品やサービスなどの提供を全て含んだ、とても幅の広い市場なのです。

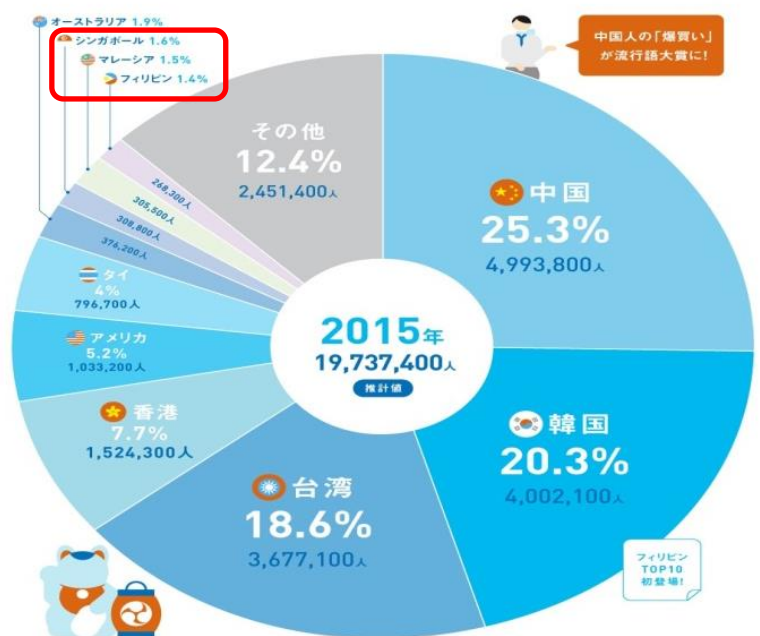
ハラルジャパン協会より (<http://www.halal.or.jp/halal/>)



ウ. ハラル対応の現状

訪日外国人の国別の割合をみると、中国や韓国などのイスラム教徒の少ないアジアからはとても多いにもかかわらず、シンガポールやマレーシア、フィリピンなどイスラム教の方が比較的多い地域からの観光客は少ないことに気付いた。（右のグラフより）

これはなぜかと話し合いを行ったところ、**ハラルへの対応ができていない**からではないかという意見が出た。ハラルはムスリムの方にとっては生きる上でとても重要だ。訪日外国人が増加すると考えられる2020年の東京オリンピックに向けて、昇龍道含め、日本全体で対応していく必要がある。私たちは実際に日本で生活しているムスリムの方は食についてどのように対応されているのか。お祈りのスペース確保などはどのようにしているのかなど疑問に感じ、直接お話を伺うことにした。



ANAHPより (<https://www.ana.co.jp/travelandlife/infographics/vol08/>)



ナビラさん(マレーシア)

お祈りの時間や方角がわかる「ムスリムプロ」というアプリがあり、日本でもお祈りをすることができます。ですが、お祈り前に必要な足や手などを洗える場所があまり無く、大変です。

ハラル認証された食品は日本にあまりありませんが、業務スーパーやアミカに行くと、ハラル認証されたお肉がよく売っています。

イスラム教は難しいものではなく、ハラルに反している食品(豚肉やアルコール、動物性の加工食品など)があることや、精肉する際に手順が決まっていることなどを除けば、日本の生活と何も変わりはありません。なので、あまり難しく考えないでほしいです。日本では、宗教などに合わせて柔軟にメニューを変えてくれるレストランが少ないので、外食がどうしても難しくなってしまいます。

日本はモノづくりの技術が素晴らしいし、食材もおいしいため、とても人気があります。ムスリムの人たちも楽しめるように、よりよい環境になってくれるとありがたいです。

名古屋(ジョシムさんは名古屋在住)は、とても住みやすい環境ですが、観光面ではあまりパッとしない場所がないように思います。昇龍道地域は、日本らしい古い街並みも多くあるので、海外の方からも喜ばれると思います。



ジョシムさん(バングラデシュ)

お二人の話を聞いて、日本がまだまだムスリムを受け入れる環境を整えられていない、と改めて知ることができた。また、客観的にみた「昇龍道の魅力」を知ることができた。

Ⅱ. 現地調査 ～イスラム教徒が多いマレーシアの現状～

少し前に述べたが、今年度本校はマレーシアの女子高等学校と姉妹校を締結した。そしてその締結式を開催するにあたり、本校の生徒が実際にマレーシアへ行くことになった。その事業に今回私たちのSTOCKリーグのメンバーの一人が参加し、実際に「本場のハラル」を肌で感じてきた。

①どの施設もムスリムに対応している！

イスラム教が国教となっているため当たり前だが、やはり日本とは比べ物にならないものであった。今回は、イオンマレーシアの店舗を訪れた。日本の企業だが、礼拝室はきちんと完備され、ムスリム用の水着まで販売されていた。礼拝室の中を特別に見せていただいたが、中には手や足を洗う場所やそれをふく紙も用意されており、多くのムスリムの方が利用していた。現在、日本国内にも礼拝堂や、礼拝室を備えた商業施設は増えつつある。しかしまだまだ少数で、中には詰めが甘いようなものもある。今後ムスリム対応を進めるうえで、重要な部分であると考える。



ムスリム用水着

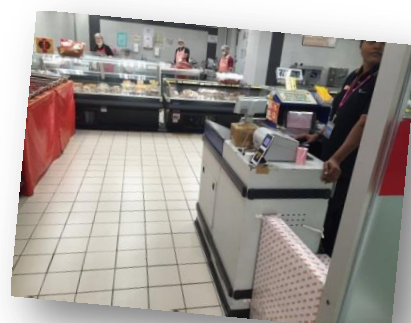


男性用礼拝室



女性用礼拝室

また、マレーシアは多民族国家のため、イスラム教以外の宗教を信仰する人も多い。そのため豚肉やお酒を別のコーナーを設け販売しているスーパーマーケットが多い。ここにいる店員は全員ムスリムではなく、レジも内部で済ませることで、ムスリムがハラム商品に触れなくてもよいようになっている。



②食べ物は何でもハラール認証済み！

食べ物は生きることにかかわってくるので、とても大事である。ハラール認証された食品は、国を問わずハラールマークが付けられる。マレーシアのスーパーやコンビニで販売されている加工食品は、とにかく何でもこのマークがついている。なんと水までついている。ジョシムさんも「ハラールマークがついていると、一目でハラールということがわかるのでとてもありがたい。」と話していた。また、イスラム圏内で買い物をするときにハラールか否かを気にすることはほとんどない、ということを知ると、本当にほとんどの食品につけられているんだ…と感じる。

<http://trimarket.jp/country/mys/1886/>


(3) 投資テーマの決定

これらの情報を踏まえて、ハラールにはどのようなビジネスチャンスがあるのか、今後どうなっていくと考えられるかを調べるため、クロスSWOT分析を行った。また仮説も立て、さらに詳しく今後の動向を予想した。

ハラール	S (強み) 全人類の20%がイスラム教徒。 アジアビジネスに目を向ける大手企業の増加。 ハラール対応できればとても大きなビジネスチャンスが生まれる。	W (弱み) 戒律が厳しいのですべてに対応できない。 添加物なども注意を払わなければならない。 ハラールそのものの認知度の低さ。 ハラール認証を受けるのが難しい。
O (機会) 東南アジアの経済発展による訪日客の増加。 イスラム教徒は日本が友好国だと考えている。 愛知・名古屋アジア大会の開催によるインフラ整備。	SO 分析結果 ・ムスリム対応できれば、訪日客が増加するだけでなく、在住する人も増え、日本国内の消費が増える。 ・アジア大会の開催により、ハラールについても必ず環境整備をしなければならない。	WO 分析結果 ・イスラム教徒の訪日客が増加するとハラールに注目が集まる機会が増え、ハラールビジネスに目を向ける企業も増加する。 ・日本がハラールをきちんと整備すれば、ムスリムの日本に対するイメージもよりよくなり、さらに観光面での発展が期待できる。
T (脅威) イスラム教徒でも地域により好みが違う。 イスラム教の戒律の認識の低さ。	ST 分析結果 ・すべての人の好みに合わせることは困難なので、どの地域からの訪日客が多いのか、きちんと分析する必要がある。 ・ハラールについて学習して戒律を守ったハラール商品を販売することで、日本の誠実さをアピールすることができるうえに、信用度も上がる。	WT 分析結果 ・ハラールの認知度が高まれば、食の安心感が生まれ、訪日ムスリムが飛躍的に増加し、他産業にも良い影響を与える。 ・安易に手を出すと、日本人の都合に合わせたハラール認証になってしまう。知識をしっかりとつけたうえでのビジネスを行う。



仮説

東京オリンピックやアジア大会の影響で昇龍道にも訪日ムスリムが増加すると考えられる。

その中で、全国に先駆けて昇龍道がハラールを整備し、ハラール先進地域として、

知名度も上がり、観光面でさらなる成長が見込める。

以上のことから、ハラールには大きなビジネスチャンスがあり、地元を盛り上げることもできると考え、

「ハラール」を投資テーマにすることにした。

3 ポートフォリオの作成

私たちはハラル関連企業を購入するために下記の流れでスクリーニングを行うことにした。

第1スクリーニング ハラル関連銘柄の選定

第2スクリーニング 財務諸表分析

第3スクリーニング 有価証券報告書から読み取れること

第4スクリーニング ハラルに関するスクリーニング

(1) 第1スクリーニング

まずは、Halal Japan のホームページからハラル認定企業を選び出した。ハラル認定企業には、上場企業が少なく下記の朱書きされている企業の22社しかなかった。ほかに、ハラル関連企業がないかインターネットで調べ、Zuu Online というサイトでこれから注目されるハラル関連銘柄が掲載されていたのでその企業もスクリーニングに入れることにした。また、テーマ設定のところでも書いたが、ハラルの学習としてムスリムの方にお話を伺う機会があり、みなさん日本では業務スーパー（株式会社神戸物産）やアミカ（株式会社大光）でよくハラル食品を購入すると言われたのでその2社もスクリーニングに入れることにした。

井村屋ソーシング株式会社 ひかり味噌 株式会社 味の素株式会社 株式会社ギャバン ちば醤油株式会社 原田醤油店 株式会社福岡醤油店 盛田株式会社 株式会社ヤマヒサ キング醸造株式会社 宮坂醸造株式会社 マルコメ株式会社 キューピー 株式会社 株式会社 室次 株式会社丸十大屋 井上スパイス 工業株式会社 有限会社節辰商店 タマノイ酢株式会社 横井醸造工業株式会社 ダイヤソルト株式会社 株式会社日本海水 上野製菓株式会社 株式会社グルメストーリー 日本通運株式会社 兼松株式会社 佐藤長八商事株式会社 コスモ企業株式会社 株式会社スリーハート 株式会社ティエフケー 株式会社梅守本店 ロート製菓株式会社 イオン株式会社	倉持産業 株式会社 天草大王生産販売組合 株式会社エヌチキン 株式会社グローバルフィールド ゼンカイミート株式会社 共同船舶株式会社 株式会社ヤマサ脇口水産 協業組合本庄食肉センター 株式会社きたやま南山 株式会社オーエスミート 株式会社三田食肉公社 有限会社寄居食肉 株式会社 お菓子のパルシェ 株式会社廣榮堂 株式会社とかち製菓 株式会社ロッテ 株式会社かとう製菓 有限会社長崎海道 王様製菓株式会社 琉球黒糖株式会社 有限会社山本製菓 株式会社トゥーバトレディング 有限会社高知アイス 森永製菓株式会社 有限会社小野ファーム 合名会社アリモト 鈴江コーポレーション株式会社 大王製紙株式会社 兵機海運株式会社 EBISUYA 株式会社 グルメ杵屋 ゼンショーホールディングス	株式会社吉村商店 株式会社フィードイノベーション 日清オイリオグループ株式会社 株式会社日清商會 株式会社常磐植物化学研究所 共和薬品工業株式会社 三生医薬株式会社 ニッスイ（日本水産株式会社） 東亜食品工業株式会社 茂野製麺株式会社 日本製粉 株式会社 株式会社二宮 ヒーシュタントジャパン株式会社 敷島製パン株式会社 ムソー株式会社 永井海苔株式会社 CTC-LANKA 株式会社 株式会社種商 株式会社シーワン クロレラ工業株式会社 群馬製粉株式会社 こいしや食品株式会社 西山製麺株式会社 南薩食鳥株式会社 福島鯉株式会社 日東富士製粉株式会社 日本コーンスターチ株式会社 株式会社海産物のきむらや 株式会社コスメティック・バーリィ 日清食品ホールディングス株式会社 ツキオカフィルム製菓株式会社 株式会社神戸物産	株式会社ユーグレナ 株式会社キミカ 小川香料株式会社 長谷川香料 株式会社 曾田香料株式会社 株式会社マルハニチロ食品 ビーエイチエヌ株式会社 株式会社日本触媒 株式会社サウスプロダクト 日本理化学薬品株式会社 よつ葉乳業株式会社 株式会社ヤクルト本社 オーシャン株式会社 大塚製薬 株式会社 カルピス株式会社 大正製薬株式会社 山吉青果食品 株式会社葵製茶 有限会社鶴ノ池製茶工場 ハラダ製茶株式会社 あおぞら農業協同組合 茶来まつさか株式会社 有限会社キムラ加工 丸七製茶株式会社 花王 株式会社 株式会社資生堂 双日コスメティックス株式会社 株式会社活里 MYUYUKI 株式会社 ロイヤル化粧品株式会社 マリンフード株式会社 株式会社大光
--	--	--	--

注意）黒文字→ハラル認定企業（未上場企業） **赤文字**→ハラル認定企業（上場企業）

青文字→Zuu Online より **緑文字**→ムスリムの方のお話より

(2) 第2スクリーニング 財務諸表分析

第2スクリーニングでは財務諸表分析を行った。財務諸表分析により企業の財政状態や経営成績を把握することができる。去年の先輩方は17項目という多くの視点から分析をしていた。今年も同じ様に分析をしようという話も出たが、過去の入賞作品はどの指標を重点的に分析しているか疑問を持った。やはり、多く使われている指標は意味があるから使われていると思う。そこで、話し合いをした結果、過去三年間の入賞作品の中から多く使われている指標は何かを調べてみることにした。

↓＜過去3年間の日経ストックリーグの入賞作品で使われている財務諸表分析の項目＞

	2015年	2014年	2013年	合計		2015年	2014年	2013年	合計
自己資本利益率	7	6	8	21	売上高増減率	0	1	1	2
自己資本比率	4	4	4	12	営業利益増減率	0	1	1	2
株価収益率	5	4	2	11	売上高営業利益率	0	1	1	2
総資本利益率	1	3	2	6	棚卸資産回転期間	0	1	1	2
株価純資産倍率	2	2	1	5	売上債権回転期間	0	1	1	2
一株当たり純資産	2	1	1	4	買入債務回転期間	0	1	1	2
経常利益成長率	1	1	1	3	有利子負債依存度	0	1	1	2
流動比率	1	1	1	3	株主持ち分比率	0	1	1	2
売上高成長率	1	1	1	3	純資産回転率	0	0	2	2
当期純利益伸び率	0	2	1	3	営業利益率	0	0	1	1
総資産回転率	0	2	1	3	当座比率	0	0	1	1
負債資本倍率	1	1	0	2	長期固定適合率	0	0	1	1
配当利回り	2	0	0	2	PEG レシオ	0	0	1	1
売上高推移	2	0	0	2	研究開発費効率	0	0	1	1
総資本回転率	1	0	1	2	商標数	0	0	1	1
一株当たり利益	1	0	1	2	海外売上高比率	0	0	1	1
売上経常利益率	0	1	0	1	固定資産回転率	0	0	1	1

2013年～2015年の過去の作品を調べた結果上記の表のようになった。私たちは第2スクリーニングで上記表の赤色の項目について財務諸表分析をしていきたいと思った。しかし、本当にこの指標だけでいいのか？もっと大事な指標があるのではないかと疑問を持つようになった。これらの指標についてなぜ必要なのかを調べてみることにした。

①自己資本利益率の必要性

自己資本利益率では、株主資本（株主が投資したお金）が効率良く有効に使われているかが分かる。高いほど、自己資本の収益性が大きいことを示し、**経営の効率**がよい。**企業の収益力**を示している。

②自己資産比率の必要性

自己資産比率では、株価収益率比率が高いほど**財務体質が安定している** 50%以上が望ましい。比率を高めるためには、非効率な資産を減らすための施策を行う必要がある。

③株価収益率の必要性

株価収益率では、1株あたりの利益に対して、今の株価は何倍まで買われているかを見る。低いほど会社が稼ぐ利益に対して現在の**株価が割安**であることを表している。

④総資本利益率の必要性

総資本利益率では、企業が全ての資本を利用して、どれだけ利益を上げているのかを示す。**経営効率の良さ**をみる。

⑤株価純資産倍率の必要性

株価純資産倍率では、BPSと現在の株価を比べたもので、例えばBPS1000で株価が800ならPBRは0.8倍となり、800円投資すれば万が一その企業が解散しても1000円戻ってくることになるので株価は安いといえる。低いほど**割安**である。

⑥一株当たり純資産の必要性

一株当たり純資産では、企業が解散した時に、資産を処分して債務を返済した後に残る株主の取り分である。**企業解散時の解散価値**。高いほどよい。

⑦経常利益成長率の必要性

経常利益成長率では、前期の経常利益に対して、当期の経常利益がどれだけ伸びているか**成長性**を判断する指標。一般に経常利益成長率が売上高成長率を上回っている企業は順調に成長しているとみることができる。

⑧売上高成長率の必要性

売上高成長率では、前期の売上高に対して、当期の売上高がどれだけ伸びているか**成長性**を判断する指標。高い方がよい。売上高が伸びている場合は、市場の拡大、シェアの拡大、販売単価の高い商品の販売が行われた事になる。

私たちが当初選んだ8つの指標を調べてみたところ、この8つの指標を利用することにより収益力、財務体質、成長性、割安性、経営効率の良さという重要項目について財務諸表分析を行えることがわかった。過去の入賞作品の各チームは、やはり企業を知るうえで重要となる指標を使って分析していたことがわかった。当初選んだ8つの項目で財務諸表分析を行うことにより、効率よく、バランスよく企業を抽出できるという結論になったため、私たちはこの8項目を利用しスクリーニングをした。金額等は有価証券報告書を用いて財務諸表分析を行った。まずは各項目の実数を出し、それを基に各項目の点数化を行い、合計点数で順位をつけた結果を表にまとめた。

銘柄番号	企業名	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
2931	株式会社ユーグレナ	87.5%	3.7%	300.5	154.6	9.3	94.5%	279.3%	3.2%
4958	長谷川香料株式会社	78.2%	3.8%	21.2	1872.3	1	5.1%	-1.8%	3.0%
4965	曾田香料株式会社	77.8%	1.6%	34.9	1631.6	0.4	-1.7%	-66.5%	1.3%
1333	株式会社マルハニチロ食品	21.7%	6.4%	27	1618.5	1.8	2.4%	44.7%	1.4%
4114	株式会社日本触媒	66.2%	9.2%	8.9	6870.8	1.1	-13.8%	14.7%	6.4%
2267	株式会社ヤクルト本社	63.3%	9.5%	28.6	2007.7	2.5	6.1%	11.1%	6.0%
4581	大正製薬株式会社	84.7%	3.7%	32.1	7870	1.3	-0.1%	-7.1%	3.1%
4452	花王株式会社	53.6%	14.4%	31.7	1347.3	4	5.0%	22.0%	7.7%
4911	株式会社資生堂	51.1%	6.2%	43.5	981.4	2.7	-1.9%	28.6%	3.2%
4527	ロート製薬株式会社	62.0%	8.2%	25.6	969.2	1.9	10.0%	8.8%	5.1%
9062	日本通運株式会社	36.2%	6.7%	14.4	521.8	1	-0.8%	4.8%	2.4%
8020	兼松株式会社	27.2%	9.0%	7.7	221.6	0.8	-4.7%	-25.3%	2.4%
3880	大王製紙株式会社	26.6%	8.5%	9.5	1119.2	1.1	5.3%	-2.4%	2.3%
9362	兵機海運株式会社	15.8%	6.5%	14.3	147.8	1	-7.4%	-56.3%	1.0%
2802	味の素株式会社	55.1%	10.5%	45.1	619.8	3.8	3.6%	335.7%	8.3%
2809	キューピー	66.0%	6.5%	26.3	1410.5	2.1	4.5%	7.7%	4.6%
8267	イオン	22.1%	0.3%	205.93	1364.6	1.1	15.5%	17.8%	0.1%
7550	ゼンショーHD	27.0%	6.4%	49.8	412.2	4.7	2.7%	295.8%	1.7%
2897	日清食品HD	67.2%	7.2%	21.5	3332.9	1.8	8.5%	-6.8%	4.9%
2201	森永製菓	46.8%	10.3%	18.4	286.5	16.4	2.2%	84.7%	4.8%
2602	日清オイリオ	53.4%	4.6%	14.4	697.9	0.7	-0.4%	32.8%	2.5%
1332	日本水産	24.5%	12.3%	12.6	324.7	1.6	-0.2%	-3.3%	3.0%
2001	日本製粉	54.8%	6.2%	18.3	812.7	1.9	4.4%	29.2%	3.4%
2003	日東富士製粉	65.0%	5.7%	10.3	616.4	6.1	1.4%	10.9%	3.7%
3038	神戸物産	15.3%	20%	30.8	571.64	5.6	6.8%	33.4%	3.1%
3160	大光	13.8%	16%	11.8	408.26	2.0	7.9%	49.5%	2.2%

上記表の実数を点数化し、合計点数の上位20企業を購入候補として第3スクリーニングへ移行することにした

銘柄番号	企業名	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	合計	順位
4114	株式会社日本触媒	3	2	3	3	2	0	1	3	17	1
2897	日清食品HD	3	2	2	3	1	3	0	2	16	2
2001	日本製粉	3	2	3	1	1	2	2	2	16	2
4958	長谷川香料株式会社	3	1	2	2	3	2	0	2	15	4
2267	株式会社ヤクルト本社	3	2	1	3	0	2	1	3	15	4
4452	花王株式会社	3	3	0	2	0	2	2	3	15	4
4527	ロート製薬株式会社	3	2	1	1	1	3	1	3	15	4
2802	味の素株式会社	3	3	0	1	0	2	3	3	15	4
2201	森永製菓	2	3	3	0	0	2	3	2	15	4
2602	日清オイリオ	3	1	3	1	3	0	3	1	15	4
3160	大光	0	3	3	1	1	3	3	1	15	4
1333	株式会社マルハニチロ食品	1	2	1	2	1	2	3	1	13	12
9062	日本通運株式会社	2	2	3	1	3	0	1	1	13	12
3880	大王製紙株式会社	1	2	3	2	2	2	0	1	13	12
2809	キューピー	3	2	1	2	0	2	1	2	13	12
2003	日東富士製粉	3	2	3	1	0	1	1	2	13	12
2931	株式会社ユーグレナ	3	1	0	0	0	3	3	2	12	17
8267	イオン	1	1	0	2	2	3	2	1	12	17
4581	大正製薬株式会社	3	1	0	3	2	0	0	2	11	19
3038	神戸物産	0	3	0	1	0	2	3	2	11	19
4965	曾田香料株式会社	3	1	0	2	3	0	0	1	10	21
4911	株式会社資生堂	3	2	0	1	0	0	2	2	10	21
8020	兼松株式会社	1	2	3	0	3	0	0	1	10	21
7550	ゼンショーHD	1	2	0	1	0	2	3	1	10	21
1332	日本水産	1	3	3	0	1	0	0	2	10	21
9362	兵機海運株式会社	0	2	3	0	3	0	0	1	9	26

(3) 第3スクリーニング 有価証券報告書から読み取れること

第3スクリーニングでは、主に有価証券報告書から読み取れることについて自分たちで考え、点数化した。有価証券報告書は財務内容だけではなく企業の経営戦略やリスク管理など非常に多くのことを知ることができる。このことから、企業を分析するためにはこの有価証券報告書を最大限に活かすことが大切だと感じ取り入れた。また、企業は利益を上げるだけではなく、良い社会を作っていくために何をすべきかを考え、実行する必要がある。よって、企業の社会貢献活動についても今回のスクリーニングでの項目に入れた。各指標の内容については下記の通りである。

①**研究開発費当期純利益比率**…有価証券報告書の研究開発活動より。研究開発に力を入れている企業は、今後の成長が見込めると感じたので、本校独自で研究開発費当期純利益比率という項目を作った。
得た利益をいかに未来へ投資しているかがわかる指標であると考え、投資額の比率が高い企業と高得点とした。

②**外部取締役の割合**…有価証券報告書のコーポレートガバナンスの状況より。外部取締役を取り入れることにより、社外の視点からの意見を受けることで、企業経営の公正性が確保される。外部の方の豊富な経験と的確な助言を受けることで、適切な意思決定が可能となると考えた。外部取締役の割合が高い企業を高得点とした。

③**リスク管理について**…有価証券報告書の事業等のリスクより。企業にとってリスクを予想し管理することは継続企業において非常に大切であると考え、よって、有価証券報告書の事業等のリスクを読み、よりリスク管理がしっかりしていると感じた企業について高得点とした。

④**中長期計画の海外進出について**…有価証券報告書の対処すべき課題より。今回は、ハラル関連企業をテーマとしている。よって中長期計画でもその地域をターゲットとして考えている企業を応援したい。よって、イスラム圏やイスラム教徒の多いアジア圏に進出を考えている企業を高得点とした。

⑤**社会貢献活動について**…企業HPより。企業は利益の追求だけでなく、社会に貢献してこそ、存在価値があるものとする。また、社員を大切にすることも企業の努めである。環境や海外貢献、教育など幅広く、社会貢献活動を行っている企業を高得点とした。

上記の5項目で点数化し点数の高い順で順位をつける。

銘柄番号	企業名	①	②	③	④	⑤	合計	順位
2897	日清食品HD	4	5	3	3	5	20	1
8267	イオン	0	5	5	3	5	18	2
4452	花王株式会社	5	4	3	1	4	17	3
2602	日清オイリオ	5	2	2	3	4	16	4
4581	大正製薬株式会社	5	2	1	3	5	16	4
2201	森永製菓	4	2	2	3	4	15	6
4114	株式会社日本触媒	4	3	2	0	5	14	7
4527	ロート製薬株式会社	5	1	2	3	3	14	7
2802	味の素株式会社	1	2	4	3	4	14	7
2003	日東富士製粉	4	2	1	5	2	14	7
2001	日本製粉	5	2	2	1	3	13	11
3880	大王製紙株式会社	1	3	2	3	4	13	11
2931	株式会社ユーグレナ	1	3	4	3	2	13	11
1333	株式会社マルハニチロ食品	1	2	2	1	5	11	14
9062	日本通運株式会社	0	2	3	3	3	11	14
4958	長谷川香料株式会社	2	2	1	3	2	10	16
2267	株式会社ヤクルト本社	1	5	1	0	2	9	17
2809	キューピー	2	1	2	0	3	8	18
3038	神戸物産	0	1	3	0	3	7	19
3160	大光	0	1	3	1	1	6	20

上記の結果から、上位15企業を第4スクリーニングへ移行した。

(4) 第4スクリーニング ハラルに関するスクリーニング

私たちは、第2スクリーニングで財務諸表分析、第3スクリーニングで有価証券報告書の分析を行った。そして最後の第4スクリーニングではハラルの商品力やムスリム対応、ハラルの情報発信など各企業のハラルに関する項目について点数化し、スクリーニングすることにした。

① ハラル関連企業 と昇龍道地区と のつながり	私たちは運輸局の訪問によって(訪問の様子は日経STOCKリーグで学んだことに記載)昇龍道として本気でムスリム対応をしていきたいという姿勢を知った。私たちは昇龍道地区をムスリム対応の先進地域になると考えている。よって、ハラル関連企業が昇龍道地区とのつながりがあるかどうかを点数化した。
	・本社が中部9県…5点 ・支社、営業所が中部9県にある…3点 ・その他のなんらかのつながり…1点 ・繋がりが全くない…0点
② ハラルの 情報発信	各企業がホームページなどを利用してハラルやムスリム対応に関する情報を発信しているのかを点数化した。運輸局の訪問の際どのようにムスリム対応をするべきか困っている企業が多いと聞いた。情報を発信することにより広く人々にムスリムに関する理解やハラルに関する規制について知ってもらうことが今後ハラルを拡大させていくために必要と感じた。よって、ハラル関連企業がその情報をしっかりと発信できているかを知りたいと思った。
	・しっかりできている…5点 ・できている…3点 ・HPには書いているがいまいち伝わらない…1点 ・HPに書いていない…0点
③ 企業の ムスリム対応	ハラル関連企業だからこそ率先してムスリムの方が過ごしやすい環境を作ることが大切だと感じた。どの程度そのあたりを考え取り組んでいるかホームページで調べ点数化を行った。
	・ムスリムの人を雇っている ・イスラム圏に進出している(支店があるなど) ・文化を理解している ・ハラル商品に魅力がある ・ムスリム対策をしている(礼拝室がある、職に対応している) ※各1点(トータル5点)
④ 日常生活 におけるハラル 商品の影響力	ムスリムの方は日本に来てやはり食事に困っている。多くの企業がハラル認証を受けた商品を開発しているが日常的に使う商品が増えれば増えるほどムスリムの方は安心して日本で暮らすことができる。よって、各企業のハラル関連商品がどれだけ日常に浸透しているかを考え点数化した。
	- 毎日使う物…5点 - 週3～4回使う…4点 - 週1～2回使う…3点 - 月1回くらい使う…2点 - 年に数回使う…1点 - 日常的に使わない…0点

上記の4項目で点数化し多い順で順位をつけ、購入銘柄を決定した。また、購入株式数も決定した。購入株式数は、単元株数をもとに、購入数量を決めた。イオンの株式の購入金額割合が一番高くなっているが、企業訪問に伺った際、イオンの取り組みに対して共感し、応援したいと強く感じたので割合を一番高くした。

購入銘柄の決定

株式購入数の決定

銘柄番号	企業名	①	②	③	④	合計	購入株数	株価	購入金額
4527	ロート製薬株式会社	3	5	4	5	17	300	1,627	488,100
8267	イオン	3	1	5	5	14	500	1,510.5	755,250
2201	森永製菓	3	5	3	3	14	100	4,310	431,000
2897	日清食品HD	3	5	2	3	13	100	5,810	581,000
2802	味の素株式会社	3	0	5	5	13	200	2,186.5	437,300
2602	日清オイリオ	3	5	3	1	12	1,000	486	486,000
9062	日本通運株式会社	3	5	4	0	12	1,000	591	591,000
4452	花王株式会社	2	1	3	5	11	100	5,100	510,000
2003	日東富士製粉	3	5	1	2	11	100	3,750	375,000
2001	日本製粉	3	5	1	2	11	100	1,553	155,300
3880	大王製紙株式会社	3	1	5	2	11	100	1,269	126,900
4581	大正製薬株式会社	3	1	3	3	10		合計	4,936,850
4114	株式会社日本触媒	3	3	1	0	7			
2931	株式会社ユーグレナ	1	3	3	0	7			
1333	株式会社マルハニチロ食品	3	3	1	0	7			

4 ポートフォリオの完成とファンド名

私たちは4回のスクリーニングを重ね、最終購入銘柄を決定した。このファンドを「第2次爆買い応援ファンド」と名付けた。ムスリムの受け入れ態勢が整えば、今度はムスリムの方による爆買いを期待したいという想いからこのファンド名にした。

<第2次爆買い応援ファンド>

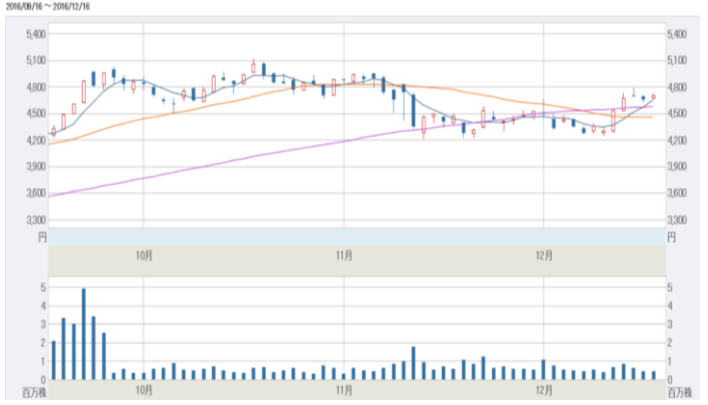
銘柄番号	銘柄名	上場市場	取得単価	取得株数	取得金額
4527	ロート製薬	東証1部	1,627	300	488,100
8267	イオン	東証1部	1,510.5	500	755,250
2201	森永製菓	東証1部	4,310	100	431,000
2897	日清HD	東証1部	5,810	100	581,000
2802	味の素	東証1部	2,186.5	200	437,300
2602	日清オイリオ	東証1部	486	1,000	486,000
9062	日本通運	東証1部	591	1,000	591,000
4452	花王	東証1部	5,100	100	510,000
2003	日東富士製粉	東証1部	3,750	100	375,000
2001	日本製粉	東証1部	1,553	100	155,300
3880	大王製紙	東証1部	1,269	100	126,900

5 ポートフォリオの分析と企業レポート

企業レポートでは、各銘柄の直近3か月の値動きとチャートの分析、各企業の紹介とどのようなハラル関連活動を行っているかを明記した。また、他企業より優れているところが一目でわかるように「ココの企業のここが凄い」という項目を立てた。更にその銘柄がなぜ買いなのかという「投資の仮説」を立て、今後の各銘柄の成長の可能性を考察してみた。

証券コード 4527	銘柄名 ロート製薬株式会社	チャートの分析
株価の推移 購入時 11/22 1,627 円 現在 12/20 1,820 円		・11月11日、17年3月期の連結業績予想を下方修正したことによって大幅に株価が下がったが、持ち前の強固な財務体質から逆に投資家から買い場と思われたことによって、現在は株価が下方修正発表前まで持ち直している。
ココの企業のここが凄い！	・経常利益成長率が279%なため前期より大きく伸びている。 ・自己資本比率が87%なため財務体質が安定している。 ・世界中の注目を集めている再生医療に取り組んでいる。	
投資の仮説	・経常利益成長率が現状でも伸びているが、再生医療が今後さらなる進展を遂げると、大きな成長が見込まれる。	
企業の紹介とハラル関連活動	・ヘルスアンドビューティーケア領域内でOTCや化粧品といったお客様のニーズに合った付加価値の高い製品を開発し提供している。 ・ハラル認定を受けたノンアニマル、ノンアルコールでムスリムが食べられる食事がある。近年は薬膳料理を提供するレストランのオープンや、奈良県で循環型農業を行うなど、健康食事業に進出している。石巻の方と作り上げたノンアニマル・ノンアルコール食は、“体にいいものを食べるところから健康が始まる”というロートの考えと合致し、ともに取り組みの歩みを進めることができた。	

証券コード 8267	銘柄名 イオン	チャートの分析
株価の推移 購入時 11/21 1,510.5 円 現在 12/20 1,746.0 円		・緩やかに株価が上昇している。 アメリカ大統領選挙の結果により一時的に株価が下落したが、すぐに持ち直し順調に推移している。 出来高も常に多く人気銘柄であることがわかる。株主優待が非常に魅力的であり、その点も株価を後押ししている。
ココの企業のここが凄い！	・私たちが選んだ企業の中のリスク管理が一番多く細かく書かれていた。 ・植樹活動や福祉の増進活動、募金などの環境、社会貢献活動に多く取り組んでいる。 ・営業収益日本小売業5期連続ナンバー1。	
投資の仮説	・私たちに身近な大型スーパーであり今後も営業収益や小売業 NO.1 が期待される。またリスク管理がしっかりと考えられておりあらゆる困難に対応できる。	
企業の紹介とハラル関連活動	・多様な事業が有機的に結びつき、高い相乗効果を発揮し5期連続で営業収益日本小売業 NO.1を達成した企業。 ・マレーシアにおいてはイオントップバリュマレーシアが同国政府サポートのもとマレーシア政府のハラル認証機関を取得した商品を147品開発した。 イオン店内の中には礼拝堂というムスリムの方々がお祈りすることのできる部屋がある。	

証券コード 2201	銘柄名 森永製菓	チャートの分析
株価の推移 購入時 11/21 4,310 円 現在 12/20 4,780 円		・長期的には株価が上昇しているが、中期的には下がりつつありテッドクロスが発生しているため、株価の下落が危惧されるが、株式市場全体の好況により支えられている。 9 月中旬に出来高を伴った上昇があったが、その原因は不明であった。
ココの企業のここが凄い！	・CSR 活動について細かく考えられている。 ・体験、歴史を学ぶ、工作などの楽しめるものが多い。 ・自己資本利益率が10%であるため自己資本の収益性が大きいことを示し、経営の効率が良い。	
投資の仮説	・自己資本利益率から経営の効率が良いことがわかる。 ・海外事業の拡大により更なる成長が見込まれる。	
企業の紹介とハラル関連活動	・菓子、食品、冷菓、ウイダーの4つの事業を柱として、少子化や高齢化社会に対応した健康分野に取り組んでいる。 ・成長分野である海外事業の拡大に取り組んでいる。 ・ハラル認証を取得している工場で、ハラル認証の基準を満たした原料のみを用い、日本のハイチュウと同様な商品を製造している。	

証券コード 2897	銘柄名 日清食品 HD	チャートの分析
株価の推移 購入時 11/21 5,810 円 現在 12/20 6,080 円		・アメリカ大統領選挙までは、若干右肩下がりだったが大統領選の結果により底となったがその後は順調に元の株価に戻りつつある。このまま上昇し続ければゴールデンクロスとなりさらなる株価上昇が見込まれる。
ココの企業のここが凄い！	・自己資本比率が67%と高いため財務体質が安定している。 ・売上高成長率が8%と高いため市場の拡大、シェアの拡大、販売単価の高い商品の販売が行われている。 ・自らの強みである技術革新とマーケティング活動を活かし、NO.1 ブランドの集合体である「ブランディング・コーポレーション」を目指している。	
投資の仮説	・NO.1 のブランディング・コーポレーションを目指すという高い目標を掲げ達成に向け邁進している。 ・財務体質が安定しており安心して投資することができる。	
企業の紹介とハラル関連活動	・カップラーメンなどを作っており、創業以来食の安全をモットーに、グローバル食品安全研究所での科学的な検査体制をはじめ、製造や消費などあらゆる段階において安全性に責任を持つ管理体制を徹底している企業。 ・ムスリムの方が多いモロッコに 100%子会社の「マグレブ日清」を設立し、モロッコとアルジェリア、チュニジアで即席麺の販売を開始した。	

証券コード 2802	銘柄名 味の素株式会社	チャートの分析
株価の推移 購入時 11/21 2,186.5 円 現在 12/20 2,406.5 円		・大統領選前と大統領選後の出来高を比較すると、約倍くらいの出来高となっている。また、株価も大統領選後一時的には下がったが、その後は出来高を伴って上昇している。数日先にはゴールデンクロスが発生し更なる株価の上昇が見込まれる。
ココの企業のここが凄い！	・自己資本利益率が10%以上あるため自己資本の収益性が大きいこと示し、経営の効率が良い。 ・経常利益成長率が335%で売上高成長率が3%と経常利益成長率が大きく上回っているため企業が順調に成長している。 ・ヨーロッパやアジア、北米、中南米など世界各地で商品を販売している。 ・事業等のリスクを多く考えられている。	
投資の仮説	・全世界に視野を広げて、経営活動を行っており今後もさらなる飛躍が見込まれる。 ・経営の効率が良く順調に成長している。	
企業の紹介とハラル関連活動	・ほんだしなどの調味料や冷凍食品などの加工食品を作っている企業で、うま味の発見を創造の礎としている味の素は、アミノ酸の研究、開発で世界的なリーダーシップを発揮し、世界各地域の文化に根差したビジネスを展開した企業。 ・味の素がマレーシアのハラル認証の商品群で販売増を目指している。主力のうま味調味料「味の素」のほか業務用製品の輸出にも注力。	

証券コード 2602	銘柄名 日清オイリオ	チャートの分析
株価の推移 購入時 11/21 486 円 現在 12/20 537 円		・12月2日発表の中間決算により営業利益、経常利益、純利益ともに前年度を50%ほど上回ったことによって買いが膨らんだ。 他の企業ほどアメリカ大統領選挙の影響はなかったように見える。
ココの企業のここが凄い！	・株価純資産倍率が0.7倍低い割安である。 ・多くの事業等リスクが考えられている。 ・日本最大級の製油工場で、食用油などを製造している。	
投資の仮説	・株価純資産倍率が1.0を切っているので割安で株式を購入できる。 ・業界最大手であり今後も安定した成長が見込まれる。	
企業の紹介とハラル関連活動	・サラダ油やオイル鍋を販売している企業で、強力なブランド力と独創的かつ優位性のある技術を武器に油脂と油脂から派生する事業をグローバルに展開する企業である。 ・経営の利益数値が年々大幅に上がっている。 ・日清オイリオではマレーシアやシンガポール向けの食品に使用する乳化剤でハラル認証を取得している。	

証券コード 9062	銘柄名 日本通運株式会社	チャートの分析
株価の推移 購入時 11/21 591 円 現在 12/20 627 円		・順調に株価が上昇トレンドとなっている。10月31日発表の中間決算では、営業利益、経常利益、純利益ともに前年を上回りさらに下記のココの企業のここが凄いにも書いた通り株価が割安なため投資家が買っている。
ココの企業のここが凄い！	・株価純資産倍率が1倍と低い割安である。 ・株価収益率が14倍と低い割安で会社が稼ぐ利益に対して現在の株価が割安である。 ・事業等のリスクについて多く考えられていた。	
投資の仮説	・PERとPBRが低く株式を購入するには今が絶好の機会。 ・事業等のリスクがしっかり考えてありあらゆる困難に対応できる。	
企業の紹介とハラル関連活動	・創業以来、物を運ぶことを通して、人、企業、地域を結び社会の発展を支えた。 ・安全に徹し、環境に配慮し、世界を舞台にすべての力を結集して、物流から新たな価値を創造することに挑戦している企業。 ・世界規模で物流を展開する同社は、マレーシアで物流のためのハラル認証を取得するためマレーシア政府の専門機関に申請を行なっている。マレーシア国内の陸送や、周辺国など国際物流へ参入する準備の一環である。	

証券コード 4452	銘柄名 花王株式会社	チャートの分析
株価の推移 購入時 11 / 21 5,100 円 現在 12 / 20 5,631 円		・アメリカ大統領選挙までは、右肩下がりであり、大統領選の結果により底となったがその後は順調に元の株価に戻りつつある。 このまま上昇し続ければゴールデンクロスとなりさらなる株価上昇が見込まれる。 出来高もアメリカ大統領選を境に増えてきている。
ココの企業のここが凄い！	・自己資本利益率が14%と高いため自己資本の収益性が大きいことを示し、経営の効率が良い。 ・社会貢献や環境、安全などの取り組みを多くしている。 ・慶應義塾大学と連携し育児と仕事の工夫をまとめたパターン・ランゲージを制作した。	
投資の仮説	・私たちがスクリーニングした企業の中で最も自己資本利益率が高く、経営の効率が極めて良い。 ・教育、環境、安全などの取り組みにより消費者に良いイメージを持ってもらえ、それが成長に繋がる。	
企業の紹介とハラル関連活動	・洗剤や台所や衣類などのお手入れ品、衛生用品を製造している企業で、グループ各社・各部門が相互に有機的に連携しあい、“よきモノづくり”を通して、お客さまと感動を共有できるような製品やサービスをお届けしている企業である。 ・2007年12月にベトナム政府機関からハラル認証を取得し、2008年からマレーシア・クアラルンプールのスーパーなどで「ビオレ洗顔フォーム」を販売している。	

証券コード 2003	銘柄名 日東富士製粉	チャートの分析
株価の推移 購入時 11 / 21 3,750 円 現在 12 / 20 3,780 円		・緩やかな上昇と下降を繰り返すトータルとして、ゆっくりと株価が上昇している。大統領選では一時的に大幅に株価が下落したがすぐに元の株価に戻った。 10月中旬にゴールデンクロスし少しずつではあるが、株価が上昇している。
ココの企業のここが凄い！	・株価収益率が10倍と低いいため会社が利益に対して現在の株価が割安である。 ・自己資本比率が65%と高いため財務体質が安定している。 ・ISO 等多く取得している。	
投資の仮説	・ISO を多く取得していることにより国際間の取引が円滑にでき、今後の成長が見込まれる。 ・財務体質が安定しており、倒産の可能性が低い。	
企業の紹介とハラル関連活動	・味わいパスタやスコーンミックスなどをつくっている企業で、お客様、株主、従業員、社会のいずれからも信頼され、安全、安心で健康的な食文化に寄与することを方針にしている企業である。 ・日東富士製粉の名古屋工場では「宗教法人 日本ムスリム協会」より小麦粉の認証を、NFIV では「インドネシア イスラム学者評議会」よりミックス粉の認証を取得し、両工場で製造・販売する商品は「ハラル食品」としてイスラム教徒も安心して利用できる。	

証券コード 2001	銘柄名 日本製粉	チャートの分析
株価の推移 購入時 11/21 1,553 円 現在 12/20 1,618 円		・全体的に株価が乱高下している。 9月中旬から10月にかけて株価が大きく動いているが、それは10月1日に実施された株式併合に係る動きである。その後はいったん下がったが、12月頃からまた上昇に転じている。
ココの企業のここが凄い！	・自己資本比率が55%と高いため財務体質が安定している。 ・ユニセフ支援活動やチャリティープログラムなど多くの社会活動をしている。 ・「食育」に関する活動の企画立案・実行をしている。	
投資の仮説	・多くの社会貢献活動により消費者の信頼が向上し、それが成長へつながる。 ・財務体質が安定しており、倒産の可能性が低い。	
企業の紹介とハラル関連活動	・製粉事業をコアビジネスに、プレミックスなどを扱う食材事業、パスタや家庭用グロスアリーなどを扱う加工食品事業、弁当や惣菜を扱う中食事業、冷凍生地や冷凍パスタを中心とした冷凍食品事業を柱とした食品事業を幅広く展開やヘルスケア事業や米国、タイなどの事業拠点を配置している企業。 ・高品質な業務用プレミックスの製造を開始し、現地のお客様から高い評価をいただきながら、順調に業容を拡大している。HALAL 認証を活用してタイ近隣諸国や中東地域を視野に入れた、グローバルなビジネス展開を NFT 社と連携しながら進めている。	

証券コード 3880	銘柄名 大王製紙株式会社	チャートの分析
株価の推移 購入時 11/21 1,269 円 現在 12/20 1,286 円		・緩やかな上昇と下降を繰り返すトータルとして、ゆっくりと株価が上昇している。大統領選では一時的に大幅に株価が下落したがすぐに元の株価に戻った。 大統領選の影響も一時的で、その後はまた緩やかに上昇に転じている。
ココの企業のここが凄い！	・株価収益率が9倍と低いいため会社が稼ぐ利益に対して現在の株価が割安である。 ・グリーン調達やコーポレートガバナンスなど多くのCSRを考えている。 ・多くの ISO を取得している。	
投資の仮説	・ISO を多く取得していることにより国際間の取引が円滑にでき、今後の成長が見込まれる。 ・私たちが購入した企業の中で、PER が最も低く、今が買い時である。	
企業の紹介とハラル関連活動	・産業から暮らしまで幅広い分野へ紙を提供する総合製紙メーカーで、三島工場(愛媛県)は、世界最大級の規模と国際競争力を有している。 ・絶えず変化する経営環境、市場構造に柔軟に対応するため、独自の生産・営業体制により顧客サービスの向上に努めている。 ・大王製紙はインドネシアでイスラム教の戒律に沿った「ハラル認証」を取得した紙おむつを発売した。イスラム教徒が忌避する成分が紙おむつに含まれていないことを明らかにして、安心して商品を買ってもらう。	

6. 投資家へのアピール

(1) 仮説の検証 ～ハラルビジネスの可能性～

私たちは、今回ハラルのテーマ決定の際に、ハラルビジネスのクロスSWOT分析を行い、仮説を立てた。私たちはハラルビジネスの普及により、明るい未来や確かな経済成長が見込めると感じた。しかし本当に経済成長が見込めるのか。私たちが立てた仮説が果たして実証できるのか。投資家の皆様に自信をもって私たちのファンドをお勧めすることができるのか。そのような点から仮説を検証してみた。

<私たちが考えたクロスSWOT分析と仮説>

ハラル	S (強み)	W (弱み)
	全人類の20%がイスラム教徒。 アジアビジネスに目を向ける大手企業の増加。 ハラル対応できればとても大きなビジネスチャンスが生まれる。	戒律が厳しいのですべてに対応できない。 添加物なども注意を払わなければならない。 ハラルそのものの認知度の低さ。 ハラル認証を受けるのが難しい。
O (機会)	SO 分析結果 ・ムスリム対応できれば、訪日客が増加するだけでなく、在住する人も増え、日本国内の消費が増える。 ・アジア大会の開催により、ハラルについても必ず環境整備しなければならない。	WO 分析結果 ・イスラム教徒の訪日客が増加するとハラルに注目が集まる機会が増え、ハラルビジネスに目を向ける企業も増加する。 ・日本がハラルをきちんと整備すれば、ムスリムの日本に対するイメージもよりよくなり、さらに観光面での発展が期待できる。
T (脅威)	ST 分析結果 ・すべての人の好みに合わせることは困難なので、どの地域からの訪日客が多いのか、きちんと分析する必要がある。 ・ハラルについて学習して戒律を守ったハラル商品を販売することで、日本の誠実さをアピールすることができるうえに、信用度も上がる。	WT 分析結果 ・ハラルの認知度が高まれば、食の安心感が生まれ、訪日ムスリムが飛躍的に増加し、他産業にも良い影響を与える。 ・安易に手を出すと、日本人の都合に合わせたハラル認証になってしまう。知識をしっかりとつけたうえでのビジネスを行う。

仮説

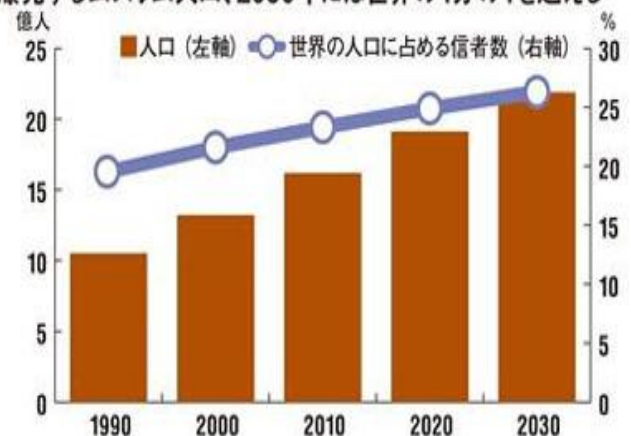
東京オリンピックやアジア大会の影響で昇龍道にも訪日ムスリムが増加すると考えられる。その中で、全国に先駆けて昇龍道がハラルを整備し、ハラル先進地域として、知名度も上がり、観光面でさらなる成長が見込める。

ア. 市場規模の大きさと伸び率

まずは市場規模の大きさが魅力である。今や中国の人口が13億5000万人に増加し、「爆買い」や訪日観光客の著しい増加により、日本の経済成長に大きな影響を及ぼしている。しかし、イスラム教徒の人口は15億人と中国より2億5000万人以上多い。また、ムスリム人口は今後も伸び続け、2030年には世界の4分の1がムスリムという予想が立てられている。(右図より)

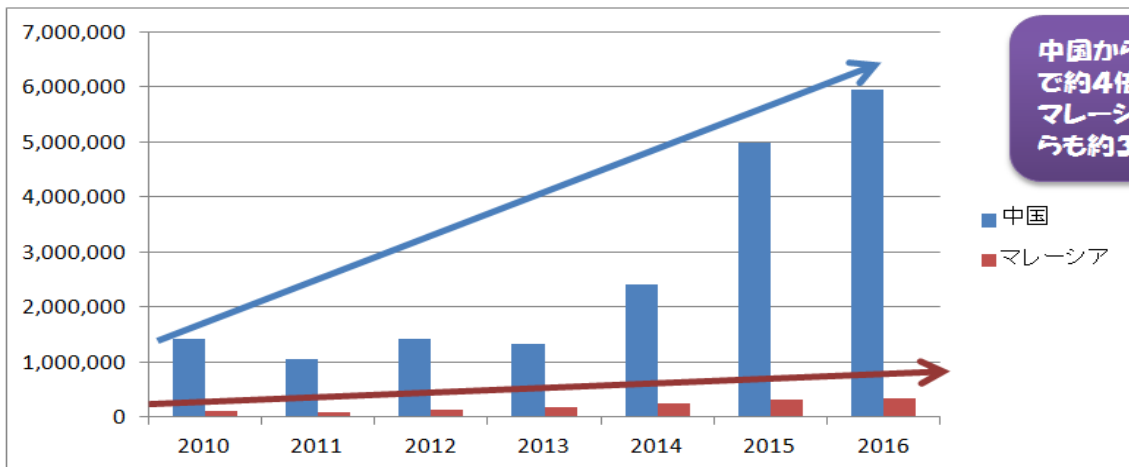
更に、現在の訪日観光客の伸び率を分析したところ、次ページの図のように、中国からは6年間で約4倍となっているが、イスラム圏であるマレーシアからも訪日観光客数が約3倍に増えている。ムスリムの今後の訪日観光客も2020年までに3倍以上増えると予想されている。まだ、ハラルが整備されていない中でこの予想なので、今後、ハラルやお祈りの整備がされれば、この予想をはるかに上回る数字が出るに違いないと私たちは期待している。

爆発するムスリム人口、2030年には世界の4分の1を超える



出所: Pew Research Center (2020年以降は予測値)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
中国	1,412,875	1,043,246	1,425,100	1,314,437	2,409,158	4,993,689	5,945,500
マレーシア	114,519	81,516	130,183	176,521	249,521	305,447	330,900

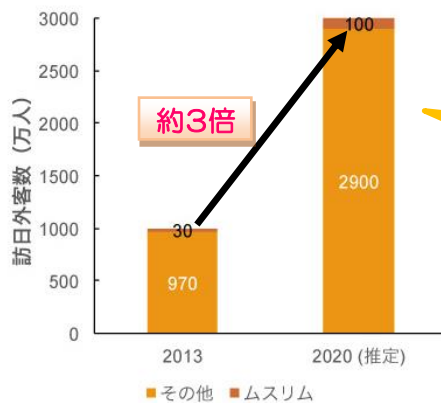


中国からの観光客は6年で約4倍。
マレーシア(イスラム圏)からも約3倍に伸びている

■ムスリム外客数

↑<訪日中国人、マレーシア人の推移グラフ>

日本政府観光局データよりグラフ作成

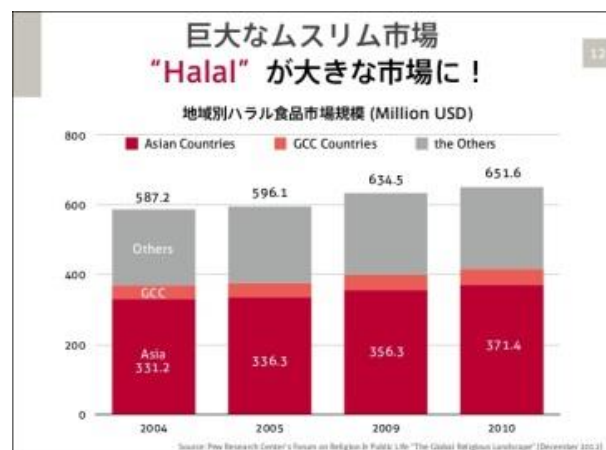
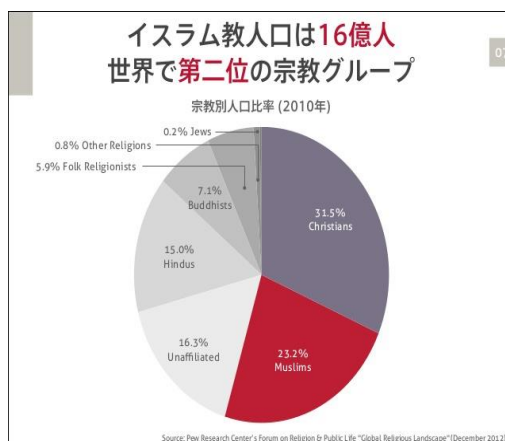


2020年にはムスリムの
外客が3倍以上になると
予想されている

< CrescentRating, 日本観光局より >

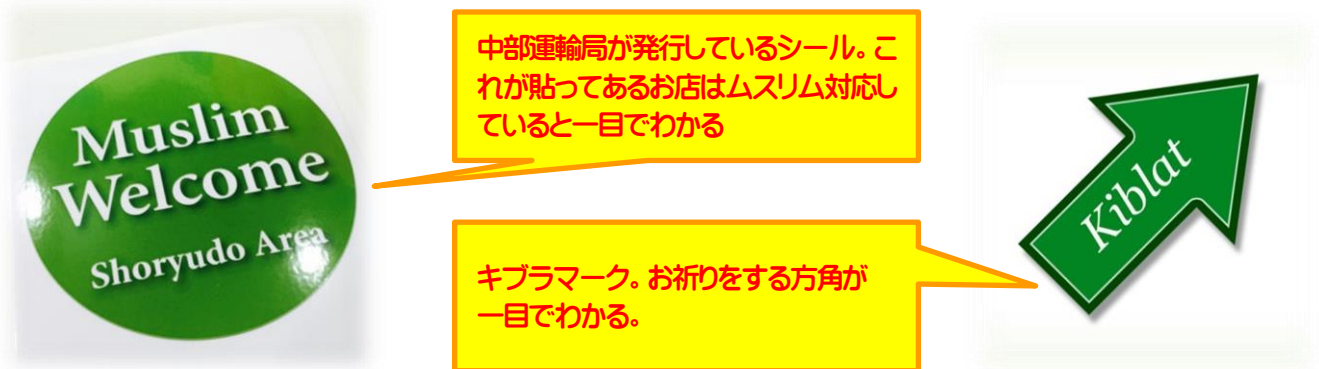
イ. 未開拓のビジネス

我が国のムスリムの受け入れ体制は整っていない。ハラール認証を受けている企業もP11の表にある企業数しかない。しかもそのうち上場企業数は22社しかなく「未開拓のビジネス」と言えるだろう。このビジネスチャンスをもにするためにはまずは生きていくために必要不可欠な「食」に関連する「ハラール認証」について整えていく必要がある。未開拓だからこそ、まだ掘り起こされていない潜在ニーズを掘り起こせば大きな成功を収めることができる。2020年開催の東京オリンピックや2026年アジア大会などといった国際的なイベントを控える日本は、これから更に訪日ムスリムの方が増加すると考える。その中で、全国に先駆けて昇龍道地区がまず「ハラール」について整備し、「食」に関する環境を整え、ハラール先進地域として知名度を上げれば、それをきっかけに観光面、経済面で更なる発展を遂げることができるのではないかと私たちは考えた。



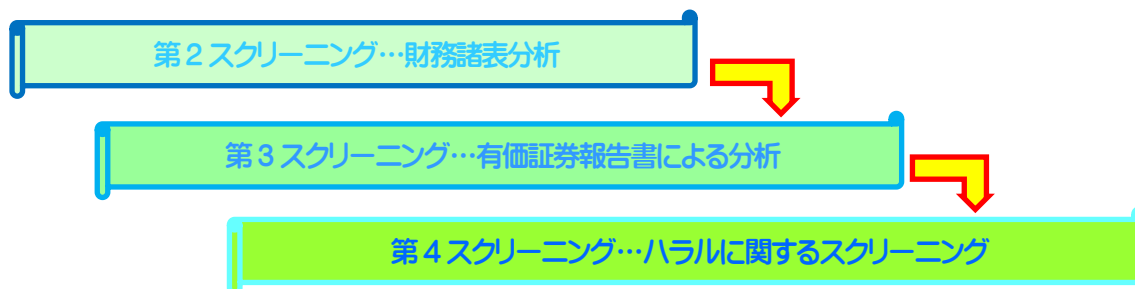
ウ. 行政も本気になっている

私たちは、フィールドワークとして中部運輸局に伺いムスリム対応についてのお話を伺った。そこで感じたのは行政として本気でムスリム対応に取り組んでいるということだ。その例としてムスリムの方に対するモニターツアーを実施し、ムスリムの方が安心して食事やお祈りができるような環境整備を目指している。下のシールはその一例で、このシールが貼ってあるだけでムスリムの方は安心して食事やお祈りをすることができる。中部運輸局が中心となって昇龍道プロジェクトを展開しているが、この昇龍道地区をムスリム受け入れ先進地域にしていきたいというお話しに、行政の後押しもあることを認識し、心強く感じた。ムスリム対応はまだ、環境が整っていないが先述したように中国人以上の人口を抱え今後のこの市場の成長性は計り知れないほど可能性がある。



(2) 多角的なスクリーニング

投資家へのアピールの2つ目は、私たちは銘柄を決定させるために4段階にわたるスクリーニングを行い、多角的に銘柄選びを行ってきた。



第2スクリーニングでは、財務諸表分析を行い日経ストックリーグの過去の優秀作品からどの項目を分析するか検討し8つの指標を使ったが、その8つの項目は収益力、財務体質、成長性、割安性という重要項目についてのポイントをおさえスクリーニングを行った。これにより、まず数字的にバランスの良い企業を抽出できた。

第3スクリーニングでは主に有価証券報告書から読み取れることについてスクリーニングを行った。有価証券報告書を読めば読むほどその企業の現状や未来が見えてくる。そのような宝を上手く使うことはできないか考え私たちなりに有価証券報告書から読める重要ポイントを考えスクリーニングに利用した。このことから企業の経営戦略やリスク管理もスクリーニングに含めることができた。

第4スクリーニングでは、企業のムスリム対応についての取り組みを点数化した。今後、ムスリム対応やハラール商品の整備を進めていくためには現時点でのハラール関連企業が世の中にPRしていく必要があるように感じる。このことから、企業がどの程度本気で広めていこうと考えているかホームページだけではあるが分析をした。このことから先駆的な企業をスクリーニングすることができたと思う。

すべてのスクリーニングを通じ、様々な視点から企業を見ることができた。

(3) 企業レポート

私たちは、P16から、企業レポートを作成したが、そこに、その企業の何が凄いのか、一目でわかるように工夫した。また、各企業の今後の投資の仮説を立てることによって、どの点に私たちが注目をして、その銘柄を購入したのかわかるようにした。投資家の方にもこのレポートを見て、投資の参考にさせていただき、ぜひ購入していただきたいという私たちの思いが詰まっている

7. 日経ストックリーグを通して学んだこと

(1) 官公庁訪問記（中部運輸局）～行政としての取り組み～

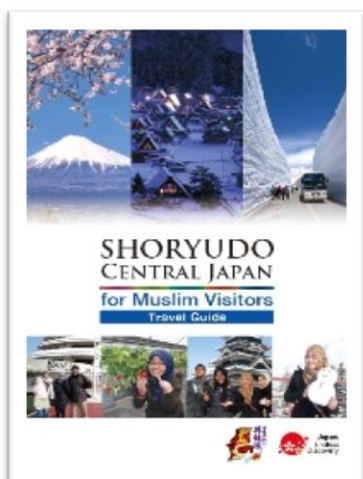
ハラルビジネスの未来を調べるため実際に中部運輸局へ足を運びフィールドワークを行った。そして、自分たちの目でハラルビジネスの将来性について学んだ。

まず、行政の取り組みとして各地域でムスリム受け入れ対応の取り組みが進められていた。昇龍道エリアのパンフレットをインドネシア語に翻訳したり、ムスリムウェルカムスポットなどといったムスリムが安心して礼拝や立ち入ることのできる施設を設置したりして、第2のチャイニーズビジネスを期待し、ハラルビジネスへの取り組みを行っている。

ムスリムの方が日本へ来たとき一番困ることは何であろうか？という疑問を持った私たちは実際に質問をしてみた。それは、言語の不自由、礼拝場所の不足、ハラル対応食品の不足であるとわかった。これは、実際にムスリムの方に企業で作成した昇龍道モデルルートに参加してもらい、現地の声を直接聞いて日本の不自由な点を明確にしたのだという。この結果を踏まえてどんなものが食べることができるのか、礼拝はどのように行うのかなどといった課題解決に取り組み、様々な取り組みを行っていた。

また、ハラルビジネスを成功させるためには地域の人々の受け入れる側の気持ちも大切だと学んだ。どうしてもムスリムの方の対応となると私たちは身構えてしまう。しかし、その必要は全くない。言語と宗教と食の文化が違っただけで他はすべて変わらないのである。グローバル化が進む中で間違った情報が流れてしまっている。そのために中部運輸局は正しい知識を知ってもらうために昇龍道地域の人を対象としたセミナーや呼びかけなどを行っていた。中部運輸局の方の「昇龍道エリアをムスリム受け入れ先進地域にしていきたい」という言葉がとても心強く感じることができ、昇龍道エリアとして、行政が先頭に立ってハラルビジネスを成功させようとしていると私たちは感じた。

↓ムスリム向けパンフレット



↓さまざまなハラルマーク



↓官公庁訪問の様子



(2) 企業訪問記（イオンモール名古屋茶屋店）～民間企業としての取り組み～

今までハラルビジネスには多くのビジネスチャンスがあり、このビジネスチャンスをものにするためにはまずは生きていくために必要不可欠な「食」について整えていく必要があると述べてきた。「食」についてハラルビジネスについて最先端を走っているのが日本一の大型スーパーであるイオンである。

イオンではハラルフードの導入に力を入れており2016年4月から関東の25店舗で本格的にチョコレートやコーヒーやカレーなど多種のハラル食品の常時販売を開始した。関東の店舗なので、私たちは実際に関東の店舗へ見学しに行くことができなかったが、私たちの身近なイオンである名古屋茶屋店でフィールドワークを行った。

イオンモール名古屋茶屋店ではまだ、多種のハラル食品の常時販売は行われていないが、少しではあるが、ハラルに関する商品を取り扱っている。今回はブラジルからの輸入品である精肉について見させていただいたが、作る工程、輸入の厳重注意、販売場所の設定などをしっかり行い、ムスリムの方が安心して買えるような売り場づくりに力を入れていた。また、「食」だけでなく買い物に来てくれたムスリムの方に対し安心して買い物をしてもらうために礼拝堂の設置を行っていた。礼拝堂を設置することによってお祈りの時間になっても帰宅せずにお祈りができる。そうすることによってムスリムの方が買い物をしやすくなり、誰もが楽しく買い物できる環境作りに取り組んでいた。

まだ発展途上ではあるが一歩先のビジネスを行い、将来的に成功する企業の一つだと感じた。



↑イオン名古屋茶屋店で販売しているハラル認証を受けた鶏肉

↓イオン名古屋茶屋店訪問の様子（１）



↓イオン名古屋茶屋店訪問の様子（２）



↓輸出における注意点（アラビア語）



↓輸出についての説明



(3) フィールドワークから分かったこと

こうして、ハラルビジネスについて実際にフィールドワークに出向き今のハラルビジネスの現状はどうなっているのか身を持って体験することができた。「百聞は一見に如かず」という言葉の意味が少しわかった気がする。なぜかというところ最初はインターネットでハラルについて下調べしていたが、実際に現地へ行くと間違った情報がネットに流れているのが瞬時にわかった。また、企業や行政がどの程度本気でムスリム対策を考えているのかを知ることができた。中部運輸局の方、イオンの担当の方が口をそろえて言っておられた言葉が、「まだ始まったばかりだが、早く取り組んだものがそのビジネスチャンスをもににする」ということだ。実際の現場の方からこのような話を聞くことができ、私たちの狙いは間違っていないと確信することができた。

(4) ムスリムの方への取材

私たちはハラルの真実について確かな情報を手に入れるため、実際にイスラム教を信仰している方々に取材をすることに成功した。そこでは日本への不満やハラルという宗教の本当の信仰方法など事細かな情報まで手に入れることができた。また、本校は今年度マレーシアの学校と姉妹校提携を結んだ。それによりハラルというもの身近になった。来年度はマレーシアの姉妹校から本校へ生徒が来ることになっている。それにより、どのようなことを整備していけばよいのか？どのようなことに配慮すればいいのか？ということが分かった。また、肉など、ハラル認証の食品を増やしても日本人は誰も困ることはない。処理の仕方が違うだけで、普通の肉と同じ。その肉を日本人も普通に使い、普通に食べることができることを知った。ハラルというと特別な感じがしてしまうが、何も特別なことはない。今後、ハラル食品を増やすことで、むしろ、日本で食に困らず幸せに住むことができる人が増える。ムスリムの方への取材から、私たちは、ハラル食品が普及してほしいと強く感じるようになった。



(5) ハラル商品開発の勉強会

私たちはハラルのことを学ぶにつれてハラル認証を取得するにはどのような苦労があるかを知るために、P11 のハラル認定企業にも書かれている永井海苔株式会社さんにお越しいただき、勉強会を行った。ハラル認証を受けるには、その商品の製造ラインに不浄といわれるものが全く使われていない専用ラインを新たに作らなければならない。また、その専用ライン付近には豚肉などを扱う包丁やまな板なども置いてはいけないという厳しいルールがあることを知った。簡単にハラル認証の食品が増えてほしいと考えていたが、ハラル認証を受ける事は安易なものではなく、多くの苦労があってようやく商品化されることを知った。その中でハラルフードを開発している企業はとても凄いことだと感じた。



ハラル認証を受けるには厳しい決まりごとがある。

永井海苔さんのハラル認証を受けた海苔。マレーシアでは寿司が好まれているのでその時に利用する

ハラル認証 審査のポイント

①原料	原料にハラール以外のものが含まれていないか
②製造設備	製造ラインでハラール以外のものとのコンタミネーションが発生しないか
③保管場所	原料、最終製品の保管時に、コンタミネーションが発生しないか
④雇用	イスラム教徒を3名以上雇用、またはハラール委員会の設置

(6) 姉妹校の生徒を受け入れるために

本校はマレーシアの学校と姉妹校提携を結んだことによりハラルというものが身近になった。来年度、マレーシアの生徒に対しておもてなしをするために、どのようなことを整備していけばよいのか？どのようなことに配慮すればいいのか？ということがわかってきたが、まずは「食」について安心して食べてもらうために、私たちがもっと勉強すべきであることが必要と知った。また、日本はハラルフードの普及やムスリムの方の受け入れ態勢について本気で取り組んでいることをわかってもらえれば今後の日本自体のPRにつながると思う。

本校では姉妹校の生徒に、ホームステイで日本の家庭を知っていただき、楽しんでいただくための観光プランにも取り組んでいる。せっかく日本へ足を運んでもらった以上、日本の文化を知り、多くの観光地を回って欲しい。そのためには先ほど述べた「食」の次に、お祈りができる場所についてもまず私たちが、どのような条件が必要なのか、どの時間にお祈りをするのかなど勉強する必要がある。日本はまだまだお祈りをする場所がなく、今後、ムスリム受入れ先進地域にするためには祈祷室を多く設置しなければならない。これは、イオンで祈祷室を見学させていただいた経験からもっと多くの祈祷室を設置するべきだと強く思った。これらを整備することによって安心して過ごしやすい日本だなと感じてもらえるに違いない。



愛知商業高校 HP <http://www.aichi-ch.aichi-c.ed.jp/>

(7) 広い視野を持つて考えることの必要性

今回ハラルビジネスについて学ぶことによって海外の方と多く接する機会があった。そこで感じたことは日本だけでなく世界に目を向けていかなければならないということだ。私たちはまだまだ知らない海外の文化や風習がたくさんあるということを知り、それを調べ学び追求することによって世界の困っている人たちの手助けになり、さらに我が国のアピールにつながると感じた。今回はハラルビジネスという一つのビジネスに注目したが、広い視野を持つことによって他に何かできることが必ずあると私たちは今回のストックリーグから学ぶことができた。

(8)最後に

私たちの国、日本ではグローバル化社会といわれている現在、未だにムスリムの方に対する配慮ができておらず、ムスリム対応後進国ということを知った。だが、逆の捉え方をすれば、いち早く整備を行うことによって日本のトップに立つことができるという意味でもある。いち早くこのビジネスに気づき、行動を起こしたものが成功していくと私たちは考えている。このようなことから私たちはこの11社を選んだのである。まだまだ発展途上であるこのハラルビジネスにいち早くから可能性を見出し、行動を起こしているこの11社こそがこれから5年後10年後の経済界を引っ張っている存在になること期待をしている。ビジネスというものはまだ誰も考えないようなことを考え、諦めずに前を向いて努力した企業が成功するのだと日々の学習から学んでいる。この「未開拓なビジネス」をいち早く開拓してくれるだろうと期待の意味も込めてこの11社をこれからも応援していきたい。

最後に私たちはハラルビジネスが大きな飛躍を遂げて世に出回るそんな存在になってほしいと思う。しかし、それにはまだまだ未開拓のハラルビジネスが成長していくことが必要だ。そして、将来ハラルについての知識をもっと世に広めていきたいと思った。そんな中、私たちができることはハラルビジネスを応援し好きでいることだと思った。

今後もハラルビジネスについての動向を知り応援し、今回学んだことを誇りに持ち続けていきたい。



参考文献

- ・財務会計Ⅰ（東京法令出版）
- ・STOCK FANTASY（日本経済新聞社）
- ・日経STOCKリーグ 学習ガイドブック
- ・日本経済新聞
- ・中日新聞
- ・中部運輸局へ訪問した際に頂いた資料

参考サイト

- ・愛知商業高等学校HP <http://www.aichi-ch.aichi-c.ed.jp/>
- ・ユネスコスクール公式サイト <http://www.unesco-school.mext.go.jp/>
- ・マレーシア政府観光局HP <http://www.tourismmalaysia.or.jp/>
- ・中部運輸局HP <https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/kikaku/syoryudo/>
- ・ハラルジャパンHP <http://www.halal.or.jp/>
- ・ANA HP <http://www.ana.co.jp/travelandlife/infographics/vol08/>
- ・TRI MARKET <http://trimarket.jp/country/mys/1886/>
- ・Zuu Online <https://zuuonline.com/archives/90760>
- ・EDINET <http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>
- ・日経スマートチャート <http://www.nikkei.com/markets/chart/#!/>
- ・ロート製薬HP <http://www.rohto.co.jp/>
- ・イオンHP <https://www.aeon.info/>
- ・森永製菓HP <http://www.morinaga.co.jp/>
- ・日清食品HP <https://www.nissin.com/jp/about/nissinfoods/>
- ・味の素企業サイト <http://www.ajinomoto.com/jp/>
- ・日清オイリオHP <http://www.nisshin-oillio.com/>
- ・日本通運HP <http://www.nittsu.co.jp/>
- ・花王HP <http://www.kao.com/jp/>
- ・日東富士製粉HP <http://www.nittofuji.co.jp/>
- ・日本製粉HP <http://www.nippon.co.jp/>
- ・大王製紙HP <http://www.daio-paper.co.jp/>
- ・PRESIDENT Online <http://president.jp/articles/-/11280>
- ・Slide Share <http://www.slideshare.net/>
- ・日本政府観光局HP <http://www.jnto.go.jp/jpn/>
- ・yahoo ファイナンス <http://finance.yahoo.co.jp/>

お世話になった方々

- ・永井海苔株式会社の皆様
- ・イオンリテール株式会社 東海・長野カンパニー イオンスタイル 名古屋茶屋店の皆様
- ・中部運輸局 国際観光課の皆様
- ・ナビラさん
- ・ジョシムさん
- ・その他、今回の研究にご協力いただいた方々